

科目名	地域作業療法学				授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
本講座は、ノーマライゼーションを目指して、様々な諸制度（介護保険法、障害者保健福祉法、など）とのかかわりの中で、地域リハビリテーションの一環で行われる「作業療法のすべて」が対象である。身障・老人領域等への作業療法活動に関して講義を行う。									
〔授業全体の内容の概要〕									
身体障害作業療法は、介護保険、訪問リハ、ケアマネとのかかわりに関して作業療法の活動を解説する。									
〔講師の実務経験〕									
1996～現在まで、臨床、訪問で動作分析等、運動学を基礎とするOT評価を経験。									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
介護保険、訪問リハ、ケアマネとのかかわり合いを理解し、説明することができる。									
回数	講義内容								
1	地域リハビリテーションとは・地域診断								
2	地域診断発表・地域作業療法とは								
3	開発途上国でのOT								
4	開発途上国でのOT								
5	訪問リハビリテーションとは								
6	デイケア・身障者支援施設でのOT								
7	デイケア・身障者支援施設でのOT								
8	デイケア・身障者支援施設でのOT								
9	デイケア・身障者支援施設でのOT								
10	訪問リハビリの事業所の起業								
11	訪問リハビリの事業所の起業								
12	福祉用具の会社でのOT								
13	福祉用具の会社でのOT								
14	訪問リハビリでのOT								
15	訪問リハビリでのOT								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名			著者名			出版社			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験・レポート									